100億宣言

株式会社三洋製作所（製造業）

カタにはまらぬ、型と形を
三洋製作所



主力事業：金型・成形品・タグ製品

〇本社所在地：愛知県名古屋市緑区
〇事業概要：プラスチック射出成形用金型、成形品、タグ製品
〇常時使用する従業員：78名
（2026年10月時点）
〇現在の売上高：13億円
（2026年4月期）
〇法人番号：1180001028187
〇Web：https://www.sanyo-ssc.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
水野　将太

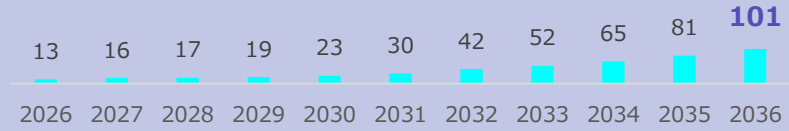
カタにはまらぬ、型と形を

当社は1956年に名古屋市で創業して以来、プラスチック射出成形用の金型と成形品の製造を柱に、70年にわたり自動車・アパレル・住設・医療などのものづくりを支えてまいりました。私たちの強みは、12,000型を超える金型づくりの経験を土台に、金型の設計から成形・組立までを自社で一貫して担えること、そして延伸加工によるタグファスナーの開発や約40年磨いてきたスーパーエンプラの高温成形など、新たな加工技術を自ら生み出してきたことです。「創造性あふれる製品の提供を通じて社会に貢献しお客様の満足を得る」という理念のもと、培ってきた技術で金属部品の樹脂化という新たな価値を生み出し、社員と地域とともに売上高100億円を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上高100億円達成に向け、新成形工場を起点に年率22%程度の成長を目指す。



課題

- 成形工場の分散と老朽化による搬送・自動化の制約
- スーパーエンプラの引き合いを受ける製造余力の不足
- 自動車向けに偏った金型の受注と成形品の収益性
- 高温成形・金型設計を担う技術者の採用と育成
- 原材料・エネルギー価格の上昇分の価格転嫁

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 2つの成形工場を集約する新成形工場の建設と省人化
- 集約で生まれた余力によるスーパーエンプラ事業の拡大
- 医療・住設など金属代替用途の開拓と成形機の増設
- 金型と成形の一括受注による高付加価値案件の拡大
- 内製の自動機による省人化の全工程への展開
- 鳴海工場跡地への追加投資、M&A・海外展開

実施体制

- 経営陣直轄チームにより重点プロジェクトの進捗管理と部門横断の連携を担保
- 月次で進捗モニタリング会議を開催、KPI管理を徹底
- 賃上げによる魅力的な職場創りと人材確保
- 設備投資と人材投資のバランスを図りつつ持続的な成長資金の確保を実施
- 金型・成形の両事業部が新成形工場を軸に一体で運用

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです